

2017年2月7日
東日本旅客鉄道株式会社

地域再発見プロジェクトの新たな取組みについて ～地域産業の活性化・交流人口の拡大を目指します～

- JR東日本グループでは、「グループ経営構想V ～限りなき前進～」の中で「地域に生きる」を一つのコンセプトとし、2009年に立ち上げた「地域再発見プロジェクト」の一環で地産品の販路拡大や6次産業化に向けたモノづくりに取り組んでいます。
- この度、仙台市内において農産物の生産から加工及び販売までを一体的に展開する農業新会社を地域農業者等と共同で設立し、今春から生産・営業を開始します。
- また、これまで連携を深めた地域の生産者・加工者等を対象に、エキナカ・駅ビル等で実施したモノづくりやコトづくりの優れた取組みに対する表彰「JR東日本『のもの』アワード」を創設します。
- 併せて、地域の課題解決に繋がる取組みとして、「企業版ふるさと納税」を活用した新たな施策や地域の素材を発掘・応援するプログラムを実施します。

1. 仙台市における農業新会社の設立について

当社とJR東日本東北総合サービス(株)は、地域農業者等との共同出資により設立する新会社を通じて、農産物の生産を行うほか、加工品開発による農産物の付加価値向上や農産物の更なる販路拡大を推進し、農業の発展を目指します。

(1) 新会社の概要

- 商号: 株式会社JRアグリ仙台
- 所在地: 宮城県仙台市
- 設立日: 2017年1月27日(金)
- 代表者: 代表取締役社長 笠原治
- 資本金等: 12百万円
- 株主構成: 地域農業者等 60.1%
JR東日本東北総合サービス(株) 23.2%
当社 16.7%

※一般法人として設立し、準備が整い次第、必要な手続きを行い農地所有適格法人となる予定。



(2) 主な事業内容

- 生産事業: 耕作面積約80aでのリーフレタス・にんじん・ねぎ・主食用米等の生産
※将来的に付加価値や希少性のある農産物を生産し、ブランド農産物の育成を目指します。
- 加工事業: オリジナル商品の企画・開発
- 販売事業: 仙台エリアでの農産物直売所の運営及びレストランやマルシェへの農産物の供給、首都圏エリアでの産直市の運営



自社農地イメージ

(3) 今後の予定

- 2017年2月～ 首都圏産直市の運営開始
- 2017年3月～ 農産物の生産開始
- 2017年8月～ 仙台駅近くでの直売所の運営開始、レストランやマルシェへの農産物の供給開始

2. JR東日本「のもの」アワード創設について

2009年に「地域再発見プロジェクト」を立ち上げ、産直市、のもの、6次産業化、農業等の取組みを通じて、地域の生産者や加工者等と連携を深めてきました。そして今回、地域の生産者や加工者等の皆さまへ感謝の意を表するとともに、更なる地域産業の活性化・交流人口の拡大を図るため、地域と連携し実施したモノづくり、コトづくりに対する賞「JR東日本『のもの』アワード」を創設します。

- 賞名: JR東日本「のもの」アワード
- 表彰対象: 地域の生産者・加工者等
- 応募対象: 今年度※に実施された取組みにおいて、JR東日本グループと地域の生産者・加工者等が連携し、企画・開発したモノづくり、コトづくり
(※2016年4月1日から2017年3月31日)
- 審査員: 過去「のもの」事業に関与し、地域活性化事業に携わる有識者
楠本 修二郎氏 カフェ・カンパニー株式会社 代表取締役社長
横川 正紀氏 株式会社ウェルカム 代表取締役
高橋 俊宏氏 株式会社榎出版社 Discover Japan プロデューサー
柿沢 安耶氏 パティスリーポタジエ オーナーパティシエール
姜 明子氏 株式会社オレンジページ 常務取締役
- 審査結果: 2017年5月発表(予定)
- 受賞特典: 地産品ショップ「のもの」において販売・展示し、トレインチャンネル等の交通広告にて発信



イメージ

3. 企業版ふるさと納税を活用した福島県いわき市との連携について

福島県いわき市は、東日本大震災後、交流人口の減少が課題となっています。そこで当社は、いわき市が取り組む旅行商品の開発、いわき駅から周辺観光施設への二次交通整備等に対して、2016年度の税制改正において創設された企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)を通じて交流人口拡大に向けた企画サポート及び寄附を行い、いわき市が抱える課題に共に取り組んでいきます。

※現在、福島県いわき市から内閣府に地域再生計画を申請中。認定を受けた後に施策を開始する予定。

○実施内容

①旅行商品の開発

- ・福島県いわき市内の観光施設、JRとまtrandいわきファームを周遊するツアー等

②二次交通の整備

- ・夏季におけるいわき駅、JRとまtrandいわきファーム、四倉エリアを周遊するルートの整備

③首都圏の駅及びいわき駅等における情報発信



JRとまtrandいわきファーム

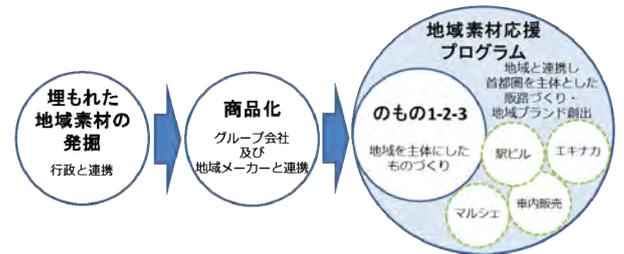
4. 地域素材応援プログラム

産直市や商談会等を通じて培ってきたネットワークを活かし、ポテンシャルはあるが、埋もれている魅力ある素材を行政と連携のうえ発掘します。当社グループの首都圏販路を中心に同時多面的に販売・発信することにより、地域ブランドの創出を支援し、持続的な地域産業の活性化を目指します。

○第一弾 宮城県巨理町・山元町「もういっこ」

東日本大震災による津波でいちごハウスが壊滅的被害を受けましたが、生産者の努力とボランティアによる支援で生産を再開しました。復旧を進めているJR常磐線沿線で主に生産されているオリジナル品種のいちごを地域及び首都圏店舗で販売・発信することで認知度向上と流通拡大を目指します。

- ・素材: いちご「もういっこ」
- ・商品: 生果、地域向け土産菓子、
首都圏向けスイーツ、ジュース等
- ・時期: 2017年2月下旬より展開



○第二弾 青森県「青天の霹靂」

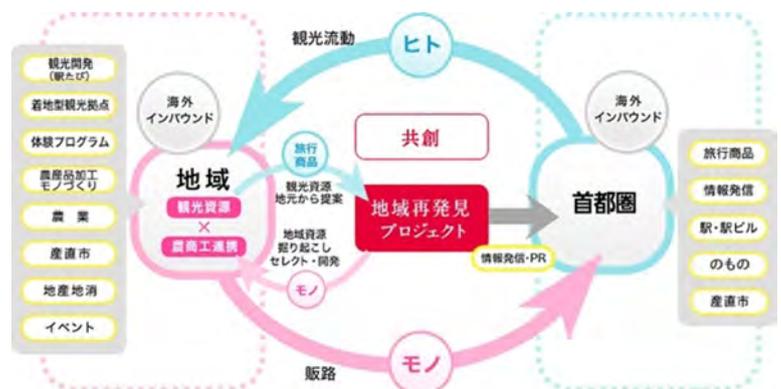
2015年にデビューした新品種のお米「青天の霹靂」ブランドの更なる認知度向上を狙い、米の利用シーンの拡大を図ります。新たに米粉菓子等を開発し、地域及び首都圏店舗で販売・発信することで、お客さまとの接点を増やしブランドの浸透を目指します。

- ・素材: お米「青天の霹靂」
- ・商品: 地域向け土産菓子等
- ・時期: 2017年4月下旬より展開、新米収穫後の10月に展開拡大予定



(参考) 地域再発見プロジェクト

地域と連携しながら、伝統文化・祭り、伝統技術、地産商品など、地域の魅力を発掘・紹介し、首都圏と地域において「ヒト」と「モノ」の循環を創出することを目指したJR東日本グループが行う地域活性化プロジェクトです。地域と共に知恵を絞りながら、新たな魅力づくりと積極的な情報発信に取り組みます。



1. JRとまとランドいわきファーム

当社と(株)JRとまとランドいわきファームは、生産施設に隣接する6次産業化施設「ワンダーファーム」と共同で、JRとまとランドいわきファーム産のトマトを使用したパウンドケーキを商品開発し、発売します。加えて、JRとまとランドいわきファームでの「トマト狩り」の割引等、特典を受けられるクーポンを数量限定で商品に封入し、いわきへの送客につながる仕掛けづくりを行います。

○商品概要:「とまプチケーキ」1個270円(税込)、4個セット1,080円(税込)

○発売日:2017年2月24日(金)～

○販売箇所:常磐線の一部エキナカ店舗、特急「ひたち」での車内販売等



商品イメージ



JRとまとランドいわきファーム



トマト狩りイメージ

2. JR新潟ファーム

(株)JR新潟ファームでは、酒米「五百万石」を生産するとともに、その酒米を原料にした日本酒「新潟しゅぽっぽ」を、地域の酒蔵や日本酒販売者と共同企画し、昨年12月27日(金)から販売しています。

この度、今代司酒造(株)及び(株)越後鶴亀の2蔵が造る「新潟しゅぽっぽ」を飲み比べできる利き酒商品を、上越新幹線車内で限定販売します。

○商品概要:「新潟しゅぽっぽ2蔵 飲み比べセット」(180ml×2本) 500円(税込)

○開催日:3月4日(土)、5日(日)、11日(土)、12日(日)

○開催列車:下記、上越新幹線の車内

とき 304号	新潟発	6時56分	東京着	9時00分
とき 311号	東京発	9時12分	新潟着	10時49分
とき 322号	新潟発	13時19分	東京着	15時28分
とき 329号	東京発	15時40分	新潟着	17時48分



「新潟しゅぽっぽ」(今代司酒造)と酒蔵



「新潟しゅぽっぽ」(越後鶴亀)と酒蔵



※「新潟しゅぽっぽ2蔵 飲み比べセット」のほか、新潟県産の日本酒のセット2種も販売します。

※商品と併せて提供するリーフレットを通じて、3月開催のイベント「新潟淡麗 にいがた酒の陣」や、3月運行開始ののってたのしい列車「越乃Shu*Kura」の魅力を発信し、新潟への観光流動を促します。